

20年前の 世相を振り返る

今年の成人式は、昭和63年4月2日～平成元年4月1日生まれの方が対象ですが、今から20年前は、いったいどんな時代だったのでしょうか？世の中やこの地域の出来事を、少し振り返ってみましょう。

世の中の主な出来事

昭和63年[1988年]

- 4月 ○瀬戸大橋開通
○ブリスベン万国博覧会開幕
- 8月 ○イラン・イラク戦争停戦
- 9月 ○ソウルオリンピック開幕
○中日ドラゴンズ優勝(セ・リーグ)
- 12月 ○税制改革6法案成立(消費税導入へ)
○三億円事件時効(民事)

平成元年[1989年]

- 1月 ○昭和天皇崩御
○新元号「平成」発表
- 2月 ○手塚治虫氏死去

流行語

「ペレストロイカ」「しょうゆ顔・ソース顔」
「5時から男」など

田原市の出来事

昭和63年[1988年]

- 4月 ○財団法人華山会設立(田原町)
- 7月 ○第1回愛のココナッツメッセージやしの実投流実施(渥美町)
- 8月 ○六連シーサイドタウン分譲開始(田原町)
○英語指導助手導入(田原町)
- 10月 ○赤羽根文化の森パターゴルフ場オープン(赤羽根町)
- 11月 ○滝頭公園アドベンチャー広場オープン(田原町)
○赤羽根町町制施行30周年記念式典開催(赤羽根町)



平成元年[1989年]

- 3月 ○華山会館リニューアル(田原町)



●河合純さん(野田中学校区)

自分にとって田原市の印象は「人が集まるところ」。さまざまな分野で、すごく活気があるまちだと思う。これに満足せず、自分たちがさらに伸ばしていけたらと思う。



●藤目有紗さん(赤羽根中学校区)

田原市は「あたたかいまち」。みんなが暮らしやすいまちだと思う。先輩たちが築いてくれたこの「あたたかいまち」を今後も守り続けることはもちろん、「もっとあたたかいまち」にしていきたい。



●山本博基さん(伊良湖岬中学校区)

楽しくも辛くもあった20年。辛かったことを乗り越えるたびに一步一步成長できたと思う。海あり山あり、自然豊かな田原市は大好き。時代は変わっていても、田原市の貴重な財産である自然をいつまでも残していきたい。



●大岩朋代さん(福江中学校区)

私の夢は、田原市で教員になること。それに向けて現在頑張っている最中。将来は、私の大好きな田原市の魅力を子どもたちにもどんどん伝え、自分の次の世代とも一緒になって、素敵なまちをつくっていけたらと思う。



●千賀吉晃さん(泉中学校区)

田原市は、なんとなく「落ち着くことができる」まち。それに一役かっているのが農業だと思う。全国に誇れる田原市の農業は、今までも、これからも、まちづくりのキーワードだと思う。市民が自分たちで切り開いていけるまちづくりを目指したい。